

謹賀新年

「笑顔あふれるまち」を目指して

十和田市長 櫻田 百合子



あけましておめでとうございます。
市民の皆さんにおかれましては、新しい年
を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申
し上げます。

令和7年1月30日に市長に就任してから、
間もなく一年を迎えようとしております。振り
返りますと、物価高騰など厳しい経済状況
が続き、生活に不安を抱える方も多いのか
だと思います。

そのような中、市では、皆さんに少しでも安
心と笑顔をお届けするため、6月に一人当たり
4千円分の「笑顔あふれる応援券」を発行し、
10月にはPayPayを活用したデジタルポイント
還元事業を実施いたしました。

また、自然の脅威に直面した年でもあります。
8月の記録的な大雨では、冠水や土砂崩れに
より奥入瀬渓流などの通行が規制され、
12月には青森県東方沖地震が発生し、初めて
北海道・三陸沖後発地震注意情報も発表され
ました。さらに、全国的な問題となっており
ますクマの人里への出没が深刻化し、本市で
も目撃情報が多数寄せられ、残念ながら人身

被害も発生しました。国・県による対応も進
められる中、市では、わなの捕獲状況を遠隔
で確認できるAI赤外線カメラや動態感知セン
サーを導入するなど、対策の強化に努めました。

一方、明るい話題として、青樅山トンネル
の避難坑が2月に貫通し、6月には本坑工事
が開始されました。このトンネルを含むバイ
パスの整備は、災害時の安全な通行の確保や
自然環境の保全と活用、さらには地域経済の
活性化にもつながるものと期待しております。

また、3月には「十和田市観光戦略2025-
29」を策定し、「自然とアートを核に稼いで潤
う持続的な観光地域づくり」を目指し、観光
消費の拡大などに取り組んでおります。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）
の取り組みも推進しており、市ホームページ
へのAIチャットボットの搭載、市役所別館や
コミュニティセンターなどのWi-Fi設備の拡
大、また青森県市町村DX加速化推進事業のモ
デル自治体として窓口業務改革を実施してお
ります。



▲青樅山トンネルの本坑工事が開始



▲笑顔あふれる応援券



▲窓口利用体験調査 (DX推進)



▼大雨被害現場の観察▶



▲国スポ・障スポ公式マスコット
キャラクター「アップリート君」

こうした中、本年も引き続き、市民の皆さ
まとの連携・協働を図りながら「期待ふくら
む！笑顔あふれるまちづくり！」の実現に向
けて、一步一步着実に歩みを進めていきたい
と考えております。

そのため、本年4月から市の組織を再編
し、新たな体制にいたします。新設するシティ
プロモーション課ではSNSなどを活用した情
報発信の強化、企画調整課と財政課では行政
課題の解決と効率的な財政運営を推進します。
また、観光課を新設し、観光行政の専門性を
高め、産業振興課では産業創出やふるさと納
税を通じて地域経済の活性化を強化します。
これらの改革により、より利便性が高く、安
心して暮らせるまちを目指してまいります。

さらに、子どもたちが天候に左右されず伸
び伸びと遊び、子育て世代が交流できる場と
して、市民交流プラザ「トワーレ」を活用し、
屋内遊戯施設を整備いたします。

そして、本年はいよいよ「青の煌めきあお
もり国スポ・障スポ」が開催されます。本市
では、国スポ競技として正式競技3種目、公
開競技2種目、デモンストレーションスポー
ツ2種目、障スポ競技として正式競技1種目
を実施します。スポーツ文化の振興を図る絶
好の機会です。市民一丸となって盛り上げて
いきましょう。

今後も、持続可能な十和田市の発展を目指
し、魅力あるまちづくりに取り組んでまいり
ますので、皆さまのご理解とご協力を賜りま
すよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆さまのご健勝とご
多幸、そして笑顔あふれる一年となりますこ
とを、心からお祈り申し上げ、新年のごあい
さつといたします。

